

## パートナー事業者選定の全体像

- スマートメーターでは3つのパートに分けて事業者を選定。今回はこのうち2つを実施。

通信システム：通信方式を決定し、ネットワーク構築を担うパートナー

スケジュール	平成24年11月にRFPの公募を開始、平成25年5月1日に基本合意。(今回公表)
ポイント	【従来】光ファイバーを管内全域に自前で敷設し、無線マルチホップ方式のみで通信。 【今回】他社インフラを活用し、3つの通信方式(無線マルチホップ、PLC、携帯)を「適材適所」で最適に組み合わせ。顧客や地域特性に応じた可変性・拡張可能性を最大限担保。国内・海外への応用も視野。

運用管理システム：メーターデータ処理のシステム構築を担うパートナー

スケジュール	平成24年12月にRFPの公募を開始、平成25年5月1日に基本合意。(今回公表)
ポイント	【従来】自動検針のみのシステム。 【今回】新ビジネス対応や自由化後の他社への情報提供も踏まえた拡張性の高いシステム。

メーター(計器)：スマートメーターそのものの製造メーカー

スケジュール	平成25年10月から競争入札を実施。初年度は190万台を入札。
ポイント	【従来】取引実績のある国内計器メーカーへのシェア割り発注。 【今回】仕様を公開し、国内外の新規参入企業も含め単純競争入札することで徹底的にコスト削減。 3月25日に入札ガイダンスを実施、23社(うち海外3社)が参加。